

ディープスタビ工法

一般名称 軟弱路床安定処理工法

道路や敷地等の軟弱な地盤を十分な支持力が得られる地盤に改良します。

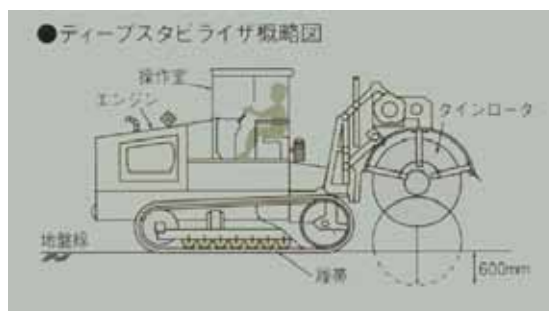


概要

●建設発生土の有効利用が大きな課題となるなか、軟弱路床の改良方法は、良質土で置き換える工法より、既存路床土を安定処理する方法が主流となっております。

●本工法は、履帯式タイヤ型スタビライザー「ディープスタビライザ」を用いて、路床を比較的深くまで安定処理する工法です。

●安定材はセメント、石灰などから対象土に合わせて選択し、「ディープスタビライザ」で攪拌混合した後、整正・転圧して地盤の支持力を高めます。



特長

- 「ディープスタビライザ」を用いることにより、最大60cmの深さまで路床を安定処理することができます。
- 不良土の処分、良質土の搬入などの作業を伴わないため、工期短縮が可能です。
- 舗装材料の省資源化とともに、路床改良により舗装厚を薄くできることから、環境に優しく、非常に経済的な工法です。

用途

- 支持力の低い路床の路床構築